

レジメンcode:	C16-26
適応がん種:	胃癌
レジメン名:	Ramucirumab+nab-PTX
間隔:	4週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
RAM	サイラムザ	8	mg/kg	点滴[*1]	d1、15
nab-PTX	アブラキサン	100	mg/m ²	点滴(30分)	d1、8、15

day1、15 【ケモセーフ使用】

- 1) デキサート 6.6mg 1 V
ポララミン 5mg 1 A
生食 50ml 1 本
主管① 点滴 15 分

- 2) サイラムザ 8 mg/kg インラインフィルター必須
生食 250ml 全量250mLになるように生食調製
主管② 点滴 初回60分
2回目以降30分[*1]

- 3) 生食 50ml 1 本
主管③ 点滴 15 分 フラッシュ用

- 4) 生食 50ml 1 本 主管③投与終了後より開始
主管②のフィルターを通さないこと
▶側管① 点滴 ルート確保

- 5) アブラキサン 100 mg/m² 【ケモセーフ使用】
生食 50ml (5mg/mLになるように調製)
▶側管② 点滴 30 分 インラインフィルター使用不可

- 6) 生食 50ml 1 本
▶側管③ フラッシュ

〈所要時間 約2時間〉

〈初回 約2時間30分〉

day8 【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	主管①	点滴	15 分
2) 生食	50ml	1 本	
	主管②	点滴	15 分
3) アブラキサン		100 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	50ml	(5mg/mLになるように調製)	
	主管③	点滴	30 分 インラインフィルター使用不可
4) 生食	50ml	1 本	
フラッシュ			

〈所要時間 約1時間30分〉

【サイラムザ】

*蛋白尿があらわれることがあるので、本剤投与中は蛋白尿を定期的に検査すること(減量基準あり)。

*infusion reactionがあらわれることあり。

・grade3、4 →本剤の投与を直ちに中止し、再投与しないこと

・grade1、2 →投与速度を50%減速し、その後の全ての投与においても減速した投与速度で投与すること

*インラインフィルター**使用必須**。

【アブラキサン】

*特定生物由来製品

医薬品名(販売名)、その製造番号又は製造記号(ロット番号)、使用年月日、使用した患者の氏名、住所等を記録し、少なくとも20年間保存すること。

*インラインフィルター**使用不可**。